

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Aブロック 1回戦 富士北麓公園体育館 Aコート 第4試合

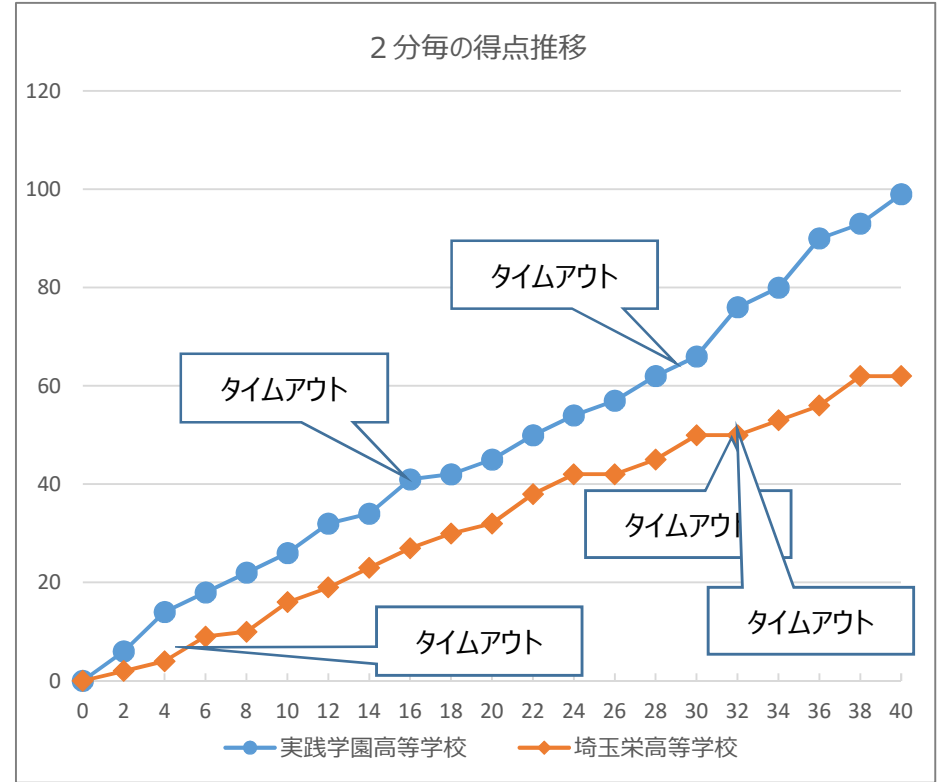
チームA		26	1st	16	62		チームB
実践学園高等学校 (東京都)	99	19	2nd	16		埼玉栄高等学校 (埼玉県)	
		21	3rd	18			
		33	4th	12			
			OT				

Aチーム： 実践学園高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	五島 大成	15	4	9	1	2	1	1	2	1	3	4
2	*	5	堀内 海利	8	0	0	4	8	0	0	1	0	2	2
3	*	6	小野寺 恒洋	6	1	3	1	11	1	7	0	1	4	5
4	*	7	江原 信太郎	22	4	9	4	9	2	2	4	6	8	14
5	*	8	山口 浩太郎	19	0	2	7	14	5	5	4	3	3	6
6	*	9	井川 広登	2	0	0	1	2	0	2	1	2	3	5
7		10	海貝 太一	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
8		11	坂田 玲磨	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
9		12	小宮山 駿帆	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
10		13	近野 零士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		14	松下 瑞季	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
12		15	山本 真	10	0	0	4	6	2	2	3	2	3	5
13		16	本間 合	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
14		17	新井 翔太	11	1	6	3	6	2	2	0	0	2	2
15		18	冢永 淳之介	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4	4
HC/TEAM			高瀬 俊也									4	0	4
			合計	99	10	30	28	65	13	21	17	19	34	53

Bチーム： 埼玉栄高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		0	磯部 海世											
2		2	森田 碧海											
3		3	吉澤 達也	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4	*	9	渋谷 恵汰	7	1	5	2	3	0	0	1	0	2	2
5	*	11	角田 卓己	5	1	5	1	5	0	1	3	1	2	3
6		13	花里 陽人											
7	*	21	清水 大夢	26	4	9	4	17	6	8	3	4	9	13
8		23	山本 星	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		24	久保 裕二郎	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
10		30	古川 諒	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
11		32	大内 淳輝	7	0	1	1	9	5	7	4	1	8	9
12		33	井原 廣紀											
13	*	34	多並 颯麻	7	0	0	3	12	1	4	3	1	3	4
14	*	35	二ノ宮 大輝	4	0	1	1	9	2	2	1	1	5	6
15		41	駒場 晨吾	4	0	1	2	6	0	0	1	2	2	4
HC/TEAM			伊藤 裕一											
			合計	62	6	23	15	64	14	22	16	11	31	42



戦評

記者者：二宮 可南子 (山梨県高体連)

両チームともハーフコートディフェンスで試合開始。実践学園は#7を中心に攻め、ディフェンスリバウンドからの速攻などで得点を重ねた。16-4とリードされたところで埼玉栄はT Oをとる。#21の3 Pなどで応戦するが、流れは変わらず、実践学園#6のバスケットカウントで1 Q 26-16で終了。2 Q、実践学園はマッチアップディフェンスで手堅く守り、#17からの展開で得点を重ねる。埼玉栄は、#41らゴール下を中心に得点を上げ、終了間際に#9のミドルシュートで粘りを見せるが、45-32と実践学園リードを広げ、2 Q終了。3 Q埼玉栄立ち上がりから#34らのゴール下のあわせなどで連続ポイントで得点するが、実践学園#8のバスケットカウントや連続ポイントで再び点差を広げる。埼玉栄も粘り強く戦い#21の3 Pなど得点するが、実践学園の#4の3 P、#15のゴール下リバウンドなど、確実に点を決め、66-50で実践学園が点差を広げ3 Q終了。4 Qもペースを握った実践学園が#7の3 Pや堅実なチームディフェンスからブレイクで得点を重ねる。実践学園は、1-2-2のオールコートプレスをしかけ、埼玉栄たまらずT O。埼玉栄、#21の3 Pなどで応戦するが、#7のブロックショットや3 Pなど実践学園が手堅いバスケットを行い徐々に点差を広げていき、最終スコア99-62で実践学園が勝利した。

主審	第1副審	第2副審
丸山 淳 (山梨県)	中嶋 清貴 (山梨県)	荻野 健 (山梨県)